2025年度
第1回 理事会議事録

2025年 5月 21日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

2025年度 第1回理事会議事録

1. 日 時 2025年5月21日(水) 14:00~17:00

2. 場 所 全構協 第一会議室

3. 構 成 員 14名

4. 出席構成員 14名(別紙 出席者名簿参照)

5. 議事次第

(1) 開会の辞

(2) 定足数確認報告(定款第36条)

(3) 会長挨拶

(4) 前回理事会議事録の確認

(5) 審議事項

第1号議案 2024年度 事業報告及び決算承認の件

第2号議案 2025年度 正会員会費額承認の件

第3号議案 第58回通常総会招集及び議案確認の件

(6) 報告事項

1) 2025年度 事業計画<文言修正>確認について

2) 総会当日のスケジュール及び開催要領 等について

3) 委員会等活動状況報告

① 運営委員会

② 技術委員会

③ 一次加工品質管理 WG

4) 鉄骨製作図問題への対応(活用調査)について

5) 特定技能外国人材関連情報について

6) その他(①輸入鉄骨対応 ②全青会関連 ③日本溶接技術センター役員就任依頼

④賛助会員関連 ⑤BIM<日建連> ⑥鉄連資料 ⑦補助金情報)

(7) その他の定例報告事項

1) 構成員登録状況

2) 着工面積と推計鉄骨需要量

3) 2025年度主要会議日程

4) 支部報告

(8) 閉会の辞

6. 議事要旨

(1) 開会の辞

進行役の小貫専務理事より開会する旨が告げられた。

(2) 定足数確認報告

小貫専務理事より、本理事会は 14 名すべての理事が出席されており、定款第 36 条（理事会の定足数）に基づく成立要件となる定足数が満たされていること、また、監事も 2 名全員に出席いただいていることが報告された。

(3) 会長挨拶

永井会長より「本日は、来月予定されている総会に向けてのご審議をお願いしたい。厳しい環境下、様々な課題がありますが、皆さんと協力しながら乗り切っていきたいと考えていますので、引き続きよろしく願いいたします。」との挨拶があった。

(4) 前回理事会議事録の確認

小貫専務理事が、2024 年度第 10 回理事会の要点を読み上げ、確認了承された。

(5) 審議事項

第 1 号議案：2024 年度 事業報告及び決算承認の件

「2024 年度事業報告」について、事業の状況、会員の状況、役員・職員の状況、会議開催状況等の重要部分が、議案書[理 25-1-議 1]<p3-22>にそって説明された。

引続き、「2024 年度 決算」について、貸借対照表、正味財産増減計算書、予算との差異が議案書<p23-36>にそって説明された。

説明の要点は以下のとおり。

○「2024 年度決算」は、第 10 回理事会(3 月 18 日開催)において説明した「2024 年度決算見込」と概ね同様の内容でしまっている。

○貸借対照表

- ・「資産合計額」は、1049,580 千円で対前年度差 11,688 千円増であった。
- ・「流動資産」は、562,026 千円、「固定資産」は、487,554 千円となった。
- ・その他固定資産額には、全国鉄骨評価機構の株式分が入っている。
- ・以上の結果、期末の「負債及び正味財産合計額」は、前年度末比+11,688 千円増加して、1049,580 千円となり、「資産合計額」と一致している。

○正味財産増減計算書

- ・「経常収益」は 363,871 千円で、対予算 6,495 千円増加であった。
- ・「経常費用」は 357,098 千円で、対予算 20,115 千円減であった。これは、「品質管理責任者講習」関連の助成金が減少したことによる影響が大きい。
- ・以上の結果、「当期経常増減額」は、6,773 千円増加[対予算比 26,610 千円増

加]となり、「正味財産期末残高」は、963,477千円となった。

また、事業報告及び決算書類に関しては、定款25条、43条の規定による監事2名の監査を受け、適正であることが確認されている旨報告された。

上記説明に対する質問、意見等はなく承認され、原案どおり6月13日開催予定の第58回通常総会へ付議することが確認された。

第2号議案：2025年度 正会員会費額承認の件

各正会員のグレード別構成員数と、会費規程に定める正規額から10%減額した単価を前提に計算した各正会員の2025年度年会費額が、議案書[理25-1-議2]<p37-38>により提示された。

本案に対する意見、質問等はなく、原案通り承認され、総会承認を経て本金額を各正会員宛てに請求することが確認された。

第3号議案：第58回通常総会招集及び議案確認の件

第58回通常総会の招集に関し、議題、開催日時、場所、審議事項、議決権行使の方法等について、議案書[理25-1-議3]<p39-45>にそって、説明された。また、総会議案書が配布され、第4号議案「役員（理事）選任」議案を含め、説明され、確認が行われた。本案に対する意見、質問等はなく、原案通り承認され、総会開催日の2週間前までに、本招集通知及び議案書を全正会員宛てに発送することが確認された。

(6) 報告事項

1) 2025年度 事業計画<文言修正>確認について

2025年度 事業計画<文言修正>について、議案書(p47-48)にそって、説明され、確認された。

- ・2025年度の事業計画については、本年2月の第9回理事会(2月18日開催)において承認をいただいたが、2024年度の推定鉄骨需要量が固まったこともあり、「基本方針」関連の文言修正を実施することとした。

2) 総会当日のスケジュール及び開催要領 等について

通常総会が開催される6月13日の全体スケジュール、開催概要等について、議案書(p49-50)そって説明された。

尚、総会当日の進行について、議長及び議事録署名人の推薦に関する提案が行われ、以下の内容が、確認・了承された。

総会議長 : 中国支部 妹尾理事

議事録署名人 : 近畿支部 佐野理事、四国支部 登尾理事

3) 委員会等活動状況報告

① 運営委員会

運営委員会について、議案書（p51-62）に沿って、以下の内容が説明され確認された。

- ・2025年度実施分の動向調査については、設問の内容は概ね従来からの内容を基本としつつ、AI関連、DX関連、人件費影響等、最近の動向も織込むことを検討中。調査の時期としては、本来のタイミングである7月に実施する予定であり、昨年同様70%以上の回収率を目標としている。回収率を確保するためには、各支部長、理事長のご協力は必須ですので、よろしくお願いしたい。
- ・共済関係の対応については、共済に関する理解を深めた上で、推進の方向を検討することとした。
- ・本年度の中堅社員向けの研修については、名称は「人づくり研修2025」とし、実施に向けた詳細準備を進めていく。受講対象者は中堅社員とし、昨年に比べやや広めに構えている。
- ・快適職場認定（仮称）については、作成したチェックシートを再度検証する予定。制度の名称については、汎用性の観点も踏まえ、再度検討予定。どこまでの制度・仕組みとするかということについては、まずはチェックシートとして使用しながら段階を踏んで見直していく。理事の皆さんには、内容を確認していただき、ご指摘等をいただきたい。

② 技術委員会

技術委員会について、議案書（p63-68）に沿って、岩永委員長より内容が説明され、確認された。

- ・S造化に関して鉄連と情報交換を行い、S造の優位性、環境性能評価について意見交換を行った。その中で、木造化の実態把握の必要性が議論され、技術委員会として調査を行いたいとの提案があった。理事会で協議の結果、事例を広く集めるという趣旨で調査を行うこととした。
- ・機械メーカー等との連携による生産性向上施策の検討については、ヒアリング調査を踏まえ、「機械メーカー等へのヒアリング」、「商品・事例の紹介」という視点で、もう少し踏み込んだ検討を進めていくこととした。

③ 一次加工品質管理 WG

一次加工品質管理 WG について説明され、確認された。

- ・一次加工の精度管理基準について、一次加工業者、機械メーカー等の意見を確認した上で、まとめを実施する方向で対応中。
- ・今後は、まとめた内容をどの様に運用していくのかということについて、案を提示させていただいた上で、ご議論いただくこととしたい。

4) 鉄骨製作図問題への対応（活用調査）について

鉄骨製作図問題への対応について説明され、確認された。

- ・全構協統一書式の「見積条件書」の使用状況（浸透度）調査について報告された。
- ・調査については、8月頃実施を目途に検討しており、「動向調査」同様にフォームスを使って実施。全構成員を対象とし、回収率は80%程度を目標とする。
- ・質問項目として、「使用状況」、「使用していない場合はその理由」、「改善点等の自由記述」等を考えている。
- ・きちんとした回収率を確保するために、動向調査との連携等、調査方法調査時期等について引続き検討することとした。

5) 特定技能外国人材関連情報について

特定技能外国人材対応の民間組織への入会申込みについて、配布資料に沿って説明があった。

- ・団体設立連絡時の予定通り、入会の申込み手続きを進めることとする。
- ・新団体の指定代表者については、永井会長で登録を実施する。
- ・設立に際して6月30日にお披露目の会が予定されているとの報告があった。

6) その他

① 輸入鉄骨対応

輸入鉄骨問題については、前回3月の理事会で品質問題に関する情報の収集を行うことが決まったことを踏まえ、回答書式に関する説明があった。

- ・提出してもらう情報は、「物件名」、「メーカー及び国名」「欠陥に関わる情報」等の5項目程度を考えているが、出しにくい内容もあることから、提供出来る範囲の情報で良いとの前提でお願いしたい。
- ・調査の対象としては、鉄骨製品の完成品及び加工途上を含めた鉄骨部材とし、広く情報を収集することとする。
- ・情報提出の期限としては、一旦7月末とするが、以降も情報があればご提供いただきたい。
- ・提出可能な情報の提供で良いこと、情報は非公開とすることについて、回答書式にも記載した方が良いとの指摘があった。
- ・若干の加筆の上、この内容で調査を実施することとした。

② 全青会関連

全青会との連携活動検討について、5月1日に板垣副会長（青年部担当理事）、全青会三役間で課題とスケジュールに関する認識合わせを目的とする打合せが実施されたとの報告があった。

③ 日本溶接技術センター役員就任依頼

日本溶接技術センターより、当協会に対して理事就任の要請が来ていることが報告された。他団体の対応に合わせ、専務理事で対応することとした。

④ 賛助会員関連

賛助会員の入会に関する事前審議用の内規について、修正案が提示された。今後、賛助会員の入会事前審査用に使用することとした。

⑤ BIM<日建連>

BIMへの対応については、日建連のWG活動にメンバーを派遣する取組みを行っているが、日建連から2024年度の活動報告が来たので紹介があった。

⑥ 鉄連資料

鉄鋼連盟から入手した鉄骨関係の調査情報について紹介があった。

⑦ 補助金情報

各種補助金情報について、事務局より説明があった。情報を全構協ホームページにアップすることとした。

(7) その他の定例報告事項

1) 構成員登録状況

本日現在の構成員数は、前回報告時(3月12日)より19社減少し、2,117社であること等が、議案書(p78-81)により報告された。

2) 着工面積と推計鉄骨需要量

2024年度(2024年4月～2025年3月)の鉄骨推定所要量は、前年比93.5%、366万トンとなった。

3) 2025年度主要会議日程

主要会議日程が、議案書(p83)により確認された。

4) 支部報告

[九州]

- ・トランプ関税の影響で、車、半導体に影響が出ており、今まで比較的堅調であった九州地区も厳しい状況になっている。
- ・九州支部の業務等について整理を進めている。組合の在り方等について、各支部の状況ヒアリングを考えており、ご協力をお願いしたい。

〔四国〕

- ・工事の延期等が発生しており、不安定な状況。

〔中国〕

- ・仕事が少なく非常に厳しい、何とか凌いでいる状態。

〔近畿〕

- ・仕事が少ない中で、コストが上昇、人手不足という三重苦状態。
- ・来年には仕事が出てくるのではと期待している。

〔中部〕

- ・地域毎にバラツキが出ているが、何とか価格を維持しながら対応していきたい。

〔北陸〕

- ・北陸も輸出に絡んだ仕事をしている所があり、トランプ関税影響が出ている。延期、中止の案件も出てきている中で、価格の維持含め我慢の状況。

〔関東〕

- ・足元は、仕事が非常に少ない。来年には出てきそうだとの情報もあるが、不安定な状態。
- ・仕事が少ない中で、価格も下落気味ではあるが、何とか踏ん張っている状況。

〔東北〕

- ・他地域同様、仕事は非常に少なく厳しい状態。今年が正念場だと思うが、仕事を融通しながら凌いでいる状態。

〔北海道〕

- ・状況に大きな変化はない。但し、秋口以降少し仕事が出てくるのではという情報もある。ラピダスの件も少しずつ動きが出ている模様。

(8) 閉会の辞

以上をもって、審議事項、報告事項等、予定された事項が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。

以 上

(別 紙)

出席者名簿

会 長	永 井	毅
副 会 長	大 竹	良 明
〃	板 垣	昌 之
専務理事	小 貫	武
理 事	竹 原	慎 雅
〃	三 浦	隆 宏
〃	安 達	次 雄
〃	前 田	正 美
〃	稲 垣	法 信
〃	佐 野	勝 也
〃	妹 尾	一 人
〃	登 尾	昌 弘
〃	岩 永	洋 尚
理 事(相談役)	米 森	昭 夫
監 事	村 上	眞 樹
〃	吉 岡	晋 吾

理事総数	14名	うち出席者	14名
監事総数	2名	うち出席者	2名